

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アルファスマート米原Ⅲ 新築工事	階数	地上10F
建設地	鳥取県米子市米原四丁目395番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	288 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2015年9月1日
敷地面積	3,155 m <sup>2</sup>	作成者	藤沢敏典
建築面積	817 m <sup>2</sup>	確認者	藤沢敏典
延床面積	6,326 m <sup>2</sup>		

  

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																																																																															
BEE = 1.1			30%: ★★★★☆☆ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ☆																																																																																																
		<p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①参照値</li> <li>②建築物の取組み</li> <li>③上記+②以外の</li> <li>④上記+</li> </ul> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>																																																																																																	
<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b>																																																																																																			
<p><b>Q 環境品質</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Q1 室内環境</th> <th colspan="2">Q2 サービス性能</th> <th colspan="3">Q3 室外環境 (敷地内)</th> </tr> <tr> <th colspan="4"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">Q1のスコア= 2.9</td> <td colspan="2">Q2のスコア= 2.6</td> <td colspan="3">Q3のスコア= 1.8</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>2.3</td> <td>温熱環境</td> <td>3.1</td> <td>機能性</td> <td>3.2</td> <td>生物環境</td> <td>1.0</td> <td>まちなみ</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>光・視環境</td> <td>3.1</td> <td>空気質環境</td> <td>3.4</td> <td>耐用性</td> <td>2.8</td> <td>地域性・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>LR 環境負荷低減率</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">LR1 エネルギー</th> <th colspan="2">LR2 資源・マテリアル</th> <th colspan="3">LR3 敷地外環境</th> </tr> <tr> <th colspan="4"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">LR1のスコア= 4.0</td> <td colspan="2">LR2のスコア= 3.3</td> <td colspan="3">LR3のスコア= 3.4</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>3.0</td> <td>自然エネ</td> <td>3.0</td> <td>水資源</td> <td>3.4</td> <td>汚染物質</td> <td>3.0</td> <td>周辺環境</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>設備シス</td> <td>5.0</td> <td>効率的</td> <td>3.0</td> <td>非再生材料の</td> <td>3.4</td> <td></td> <td></td> <td>地理環境</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table>						Q1 室内環境				Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)												Q1のスコア= 2.9				Q2のスコア= 2.6		Q3のスコア= 1.8			音環境	2.3	温熱環境	3.1	機能性	3.2	生物環境	1.0	まちなみ	2.5	光・視環境	3.1	空気質環境	3.4	耐用性	2.8	地域性・				LR1 エネルギー				LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境												LR1のスコア= 4.0				LR2のスコア= 3.3		LR3のスコア= 3.4			建物外皮の	3.0	自然エネ	3.0	水資源	3.4	汚染物質	3.0	周辺環境	4.2	設備シス	5.0	効率的	3.0	非再生材料の	3.4			地理環境	3.1
Q1 室内環境				Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)																																																																																													
Q1のスコア= 2.9				Q2のスコア= 2.6		Q3のスコア= 1.8																																																																																													
音環境	2.3	温熱環境	3.1	機能性	3.2	生物環境	1.0	まちなみ	2.5																																																																																										
光・視環境	3.1	空気質環境	3.4	耐用性	2.8	地域性・																																																																																													
LR1 エネルギー				LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境																																																																																													
LR1のスコア= 4.0				LR2のスコア= 3.3		LR3のスコア= 3.4																																																																																													
建物外皮の	3.0	自然エネ	3.0	水資源	3.4	汚染物質	3.0	周辺環境	4.2																																																																																										
設備シス	5.0	効率的	3.0	非再生材料の	3.4			地理環境	3.1																																																																																										
<b>3 設計上の配慮事項</b>																																																																																																			
<b>総合</b> 住戸数74戸の共同住宅として、快適な住環境を目指す計画としている。			<b>その他</b> 特になし。																																																																																																
<b>Q1 室内環境</b>		<b>Q2 サービス性能</b>		<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>																																																																																															
<p>①住戸間の界壁の遮音性能を高くし、プライバシーに配慮している。 ②庇とカーテンを組み合わせてゲレアを対策できるようにしている。</p>		<p>①外装及び内装に耐用年数の高いものを使用し、更新必要間隔を短くしている。 ②劣化しにくい配管材料を使用し、更新必要間隔を短くしている。</p>		<p>①外構綠化指數を10.40%としている。 ②空地率=74.12%としている。 ③中高木、ビロティ等の水平投影面積率=27.56%としている。</p>																																																																																															
<b>LR1 エネルギー</b>		<b>LR2 資源・マテリアル</b>		<b>LR3 敷地外環境</b>																																																																																															
<p>①一次エネルギー消費量を基準値の89%としている。</p>		<p>①水栓金物の節水コマに加えて、節水型便器を使用し、水資源の節約をしている。 ②グリーン調達品目にあるリサイクル材を使用している。 ③軸体と仕上げ材が分別しやすい工法を探用し、解体時にリサイクルしやすくしている。</p>		<p>①ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率=68%としている。 ②利用者のための適切な量の駐車台数と駐輪台数を確保し、洪溢対策のための車路を設けている。 ③光害対策のため、光害ガイドラインの一部を満たし、屋外照明は過半を満たしている。</p>																																																																																															

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される